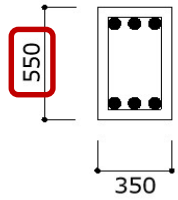
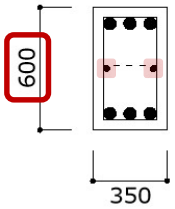
小さい梁成に腹筋を表示させる方法

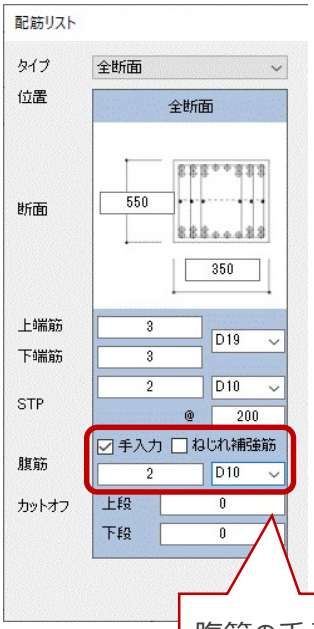
■ 腹筋の表示について

BooT.oneでは、梁の断面リストを作成する際、梁成が600mm以上の場合に自動的に腹筋が配置されるように設定されています。

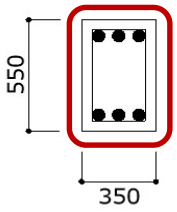
符号	B1	B2
位置	全断面	全断面
断面		
上端筋	3 - D19	3 - D19
下端筋	3 - D19	3 - D19
STP	2 - D10 @200	2 - D10 @200
腹筋		2-D10
カットオフ	-	-

梁成が600mm以上の場合
腹筋が自動で配置される

梁成が600mmよりも小さい場合、[B.構造]タブ → [配筋リスト▼]パネル → [配筋リストLegacyA] → [梁配筋リスト]ツールをクリックして腹筋を手入力修正しても、リストの文字には記載されますが、
断面には表示されません。
梁成が600mmよりも小さい場合に腹筋を表示させたいときは、梁リストファミリを修正する必要があります。



腹筋の手入力修正

符号	B1
位置	全断面
断面	
上端筋	3 - D19
下端筋	3 - D19
STP	2 - D10 @200
腹筋	2-D10
カットオフ	-

腹筋が表示されない

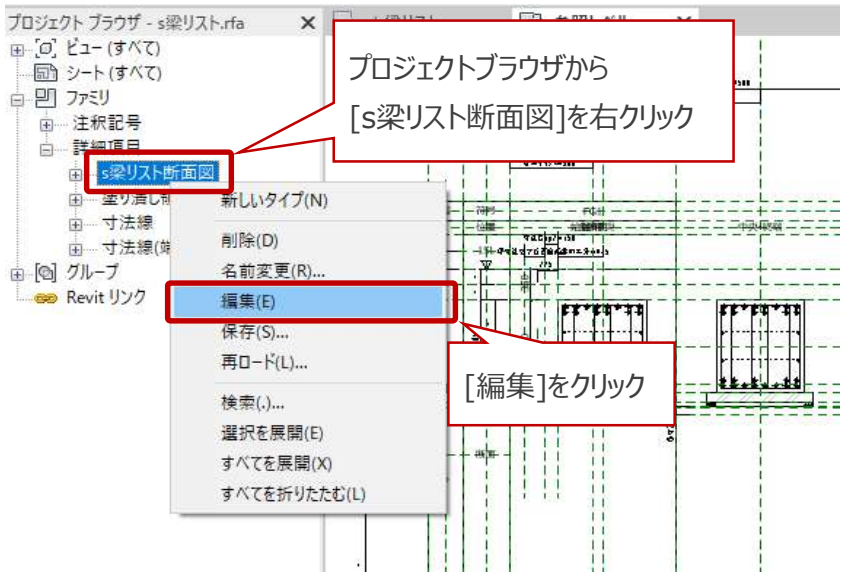
小さい梁成に腹筋を表示させる方法

BooT.one

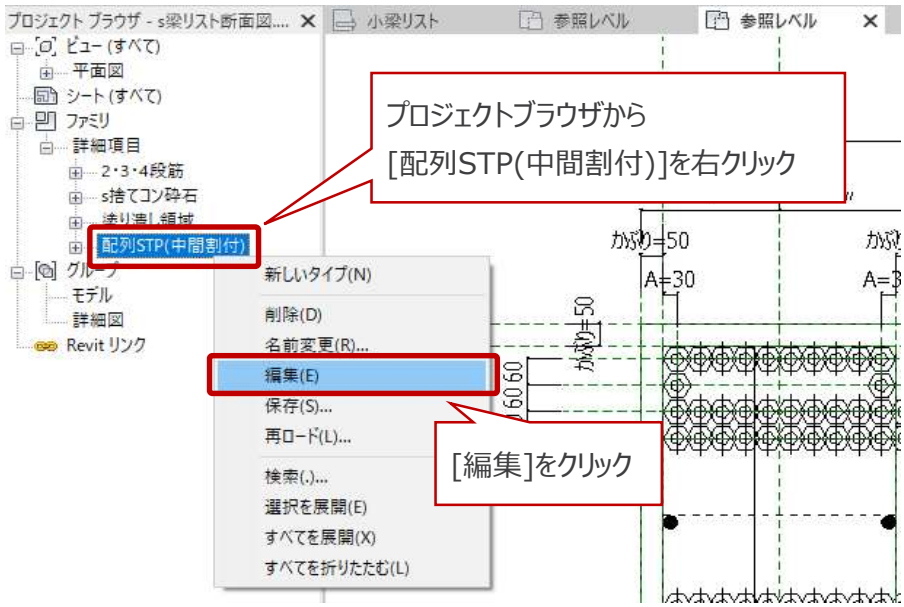
■ 梁成が600mmより小さい場合に腹筋を表示させる方法

① 梁リストファミリを選択し、[修正]タブ → [モード]パネル → [ファミリを編集]ツールをクリックし、
s梁リスト.rfaファミリの編集画面を開きます。

② s梁リスト.rfaファミリ編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリ → 詳細項目 → s梁リスト断面図を選択し、
右クリックして[編集]を選択します。

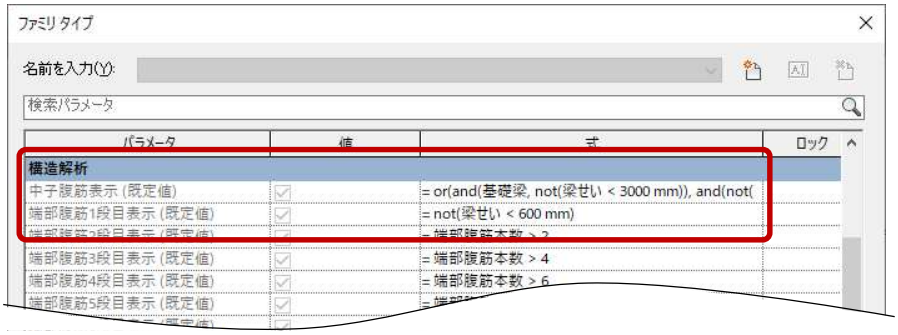


③ s梁リスト断面図.rfaファミリ編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリ → 詳細項目 → 配列STP(中間割付)
を選択し、右クリックして[編集]を選択します。

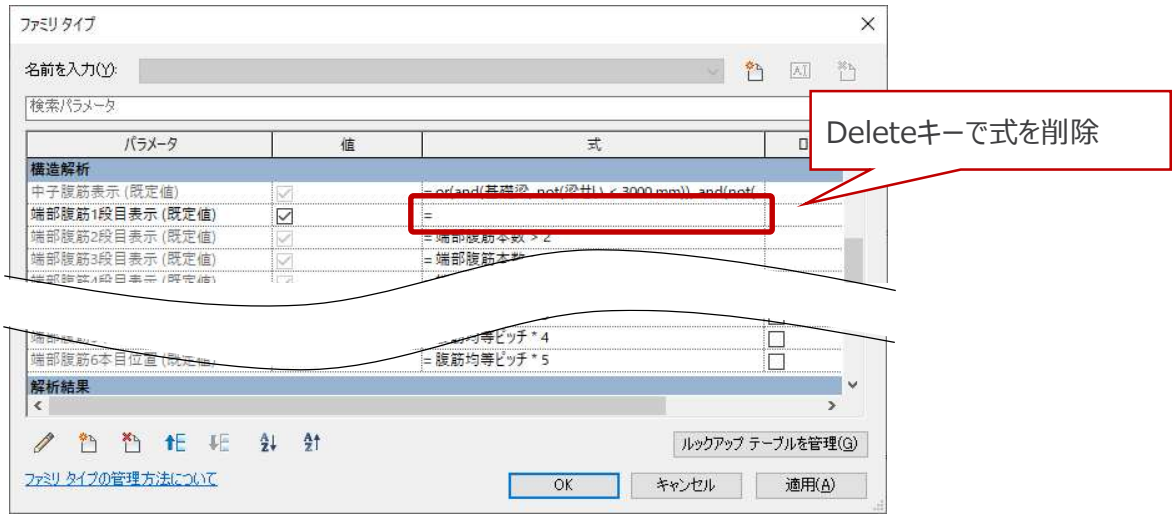


④ 配列STP(中間割付).rfaファミリ編集画面で、[作成]タブ → [プロパティ]パネル → [ファミリタイプ]ツールをクリックします。

⑤ [ファミリタイプ]ダイアログを下にスクロールし、パラメータグループの[構造解析]を表示します。

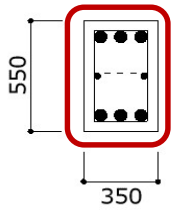


⑥ 2行目の「端部腹筋1段目表示」の[式]をすべて削除し、[OK]をクリックします。



⑦ 修正したファミリを、以下の順にロードします。
・配列STP(中間割付).rfa を s梁リスト断面図.rfa にロード
・s梁リスト断面図.rfa を s梁リスト.rfa にロード
・s梁リスト.rfa を 変更したいプロジェクトにロード

⑧ 梁に腹筋が表示されます。また、[B.構造]タブ → [配筋リスト▼]パネル → [配筋リスト▼] → [梁配筋リスト]ツールにて、腹筋の手入力修正もできるようになります。

符号	B1
位置	全断面
断面	
上端筋	3 - D19
下端筋	3 - D19
STP	2 - D10 @200
腹筋	2-D10
カットオフ	-